

美濃加茂市議アンケート(上)

	美濃加茂市議選が全市1区となった昭和49年以降で初の無投票となりました。無投票当選は、有権者の信任を得たことになると思いますか。番号を一つだけ選んでください。	美濃加茂市議会の議員定数16について番号を一つだけ選び、理由を教えてください。		年間で約610万円という美濃加茂市議の報酬について番号を一つだけ選び、理由を教えてください。。		藤井浩人市長の市政運営について、番号を一つだけ選んでください。		市議会議員として注力したい分野を1位から3位まで上位3つを挙げてください。			
	①思う ②思わない ③どちらともいえない	①適当 ②減らすべき ③増やすべき ④わからない		①適当 ②減らすべき ③増やすべき ④わからない		①とても良くなった ②良くなった ③変わらない ④悪くなった ⑤わからない		①経済・雇用 ②子育て・教育 ③医療福祉 ④人口減少対策 ⑤防災対策 ⑥行財政改革 ⑦議会改革 ⑧環境・エネルギー ⑨ジェンダーギャップ（男女格差）解消 ⑩その他（内容を具体的に）			
氏名	番号	番号	理由	番号	理由	番号		1位	2位	3位	⑩の内容
谷本梓	2	2	市民の皆さんに選んで頂いて信任を得たことになると思います。選挙が行われ政策や活動で選んでもらいそれを行っているか市民の皆さんに見届けて頂きたい。	2	報酬を増やすのではなく、政務活動費を増やし、議員の活動をしやすくすると良いと考えています	1		2	5	9	
渡辺孝男	2	2	今回の選挙結果を見ると減らすべき	3	定数を減らした部分の報酬を上乗せし、生活の不安を解消	3		5	7	8	
亀井滋昭	1	4	まだ議会運営に携わっていないため	4	業務を経験していないため	5		10			今現在一番注力しないといけない分野が何なのか見極めていません
森弓子	3	1	減らしても定員割れになる場合もある	3	大幅にというわけではなく、そういった議論が議員に立候補するきっかけになるかもしれない。（定数割れを防ぐ）	3		7	4	6	
田口智子	2	2	政治に対する関心が薄れている事や議員の活動が見えてこない等課題は山積。改善がなければ4年後も同じような状況に。定数削減も要検討課題	3	若い世代の方も議員という仕事にチャレンジしてほしい。躊躇（ちゅうちょ）してしまう理由は多くあるが、一つは報酬が家族を養うには足りない。4年度の選挙があり副業がないと大変とのことがある。	4		2	8	9	
柘植宏一	2	1	1.議会としての活動は常任委員会を中心に、事業等の調査及び評価を行うことによって二元代表制のチェック機能を発揮できるものとする。未だ十分な役割を発揮しているとは言えないが、このチェック機能を維持し発展させるためには現状定数は欠かせない。 2. 行政の事業は多岐にわたることや事業を多角的に評価する必要があることから、議員の考え方も多様であることがより適切なチェック機能の発揮に不可欠と考える。 3. 今回の「無投票」は、美濃加茂市が旧来の地域主義を中心とした「ムラ選挙」から「個人」を中心とした「都市型選挙」への転換期にあることを示しており、今後、まち協やコミュニティースクールに関わる地域学校協働本部、その他さまざまな市民活動の活性化により、議員を目指す人材が増えてくると考える。立候補者が少ないことから議員定数を削減すべきという考えは短絡的であり、まずは二元代表制の下での議会の役割を十分認識したうえで、より良い議会の創出をどのように進めるかを検討していくことが大事である。	1	若い世代が議員になるためには議員報酬の増額は必要と考えるが、増額は議員定数の削減を前提とする議論となることから、現状では増額議論に与しない。また、今回女性議員が増えたことからわかるように、ある意味現状の報酬は女性の議会進出を促すことに貢献しており、ジェンダー的視点からも有効に働いているのではないか。	5		2	10	7	まちづくり協議会など、地域活動の拡充。市民自らが地域課題の解決に取り組むことによって、政治に対する参画意識を高め民主主義の担い手としての「市民」を増やすことにつながる。
渡辺一子	2	2	美濃加茂及び周りの消滅都市を考え、やはり少子高齢化及び財政難と思います。現時点では、多いかなと思います。	4	報酬を頂いたことがないため、また議員の仕事はまだやったことがないので、活動するためにこの金額が妥当か？全く分かりません。	5		2	1	4	
金井文敏	2	1	住民の代表であり代弁者としての機能を充実するには議員は多いほうが住民に有利に働く。住民3500人あたり1人の議員は決して多くない。議員の資質の向上を図ることが重要である。	1	議員活動を行うには見合った報酬を出すべきで、人口に見合っている。議員年金が無くなった現在は、若い人に議員を担ってもらうことを考えると報酬は決して多いとは考えていない	2		3	5	2	
坂井文好	2	2	議員のなり手がいないことの方が問題である。次回も無投票であれば検討する。	3	議員定数削減と並行に。なり手がいない原因の一つとして。	5		2	8	10	食料安全保障
岸一夫	3	1	今、現在のところ妥当	1	今のところ妥当	2		3	5	4	
山田栄	1	2	議員、市民の意識改革	3	増やすことが職責の重みを持つ	4		1	5	7	
瀬瀬源太	2	3	20～70代の各世代から代弁者を出す、女性議員の割合も増やしてより幅広い意見を反映させる必要があると考えます。	4	私は年収では大幅に減収となりますが、年収の中央値からすると610万円は高値です。せめて子育て世代に対しては転職しても安心できる制度があると安心して立候補出来る方も増えると思います。	5		2	3	9	
高井実枝	2	2	今回の無投票という結果は、市民の中に市議会の重要性がますます少なくなっているのではないかと危機感を持っています。また市長選時に露呈した市議の考えと市民とのズレの修復が出来ていません。地区への利益誘導を行ってきた市議ですが、ある程度のハード面での充実もあるのではないかと、思います。ただ、市北部からの市議立候補者がいないことを憂いている話もお聞きました。美濃加茂市全体のまめ細かい意見の集約は必要だと考えています。	4	支援者に給料という言い方をされる方がいました。あくまで市での働きに対する報酬だと考えています。市民感覚とのズレがある場合は減らすべきだと思います。	4		2	5	10	事業承継を含む介護、高齢化問題
永田徳男	2	1	今回の「無投票」という結果からは、説得力にかけますが、16人のそれぞれ違う意見の対立はあって良いと思います。ただ、定数を削減して、少人数での多数決は、少し危険であるように感じます。若い有能な方々に政治へ参画してもらう為には、今回のような16人の定数で「無投票」となってしまうのであれば、2人ぐらい削減して、議員報酬を上げ、生活できるくらいでないと、若い人は議員活動だけでは、生活を保証できないのではと思います。	1	私自身、報酬の額で議員になった訳ではないので、この金額に充分満足しています。ただ、若い有望な「志しのある方」は、この金額では、挑戦しにくいとは思います。	5		1	4	5	
森厚夫	2	1	定数30人から時が経過したが16人まで削減を行ってきた	3	若い人達が立候補しやすい環境づくりが大切ではないかと、議員活動費と生活費のバランスが困難だと思われる	1		1	2	6	
村瀬正樹	2	4	即答でなく市民の声を聞いて議論すべき。減らすと北部からは出馬しにくくなる	4	40～50代には少なく、いい人でない。年齢にふさわしい額はあると思う。これも議論	2		10	2	3	市民の声を大切にした、北部も大切にしたい調和のとれた政策